

令和6年度 自己評価報告書

学校法人富士学院
富士学院幼稚園

1. 自己評価の実施日
令和7年1月31日

2. 本園の教育目標
- ① 明るく思いやりのある子を育てる
 - ② 最後まで頑張る子を育てる
 - ③ 元気にのびのび遊ぶ子を育てる

3. 年間指導計画

年長	<ul style="list-style-type: none">・いろいろな経験を通じて、自主性や協調性を身につける・目的に向かって考え、協力し、目標を達成する・生活や遊びの中で、感じたことや考えを言葉で伝え合う。
年中	<ul style="list-style-type: none">・遊びや生活を通じて、積極的に活動に関わり、園生活を十分に楽しむ・保育者や友達の話をよく聞き、自分の気持ちや考えを言葉で相手に伝える
年少	<ul style="list-style-type: none">・友達との関わり方や集団生活を知り、活動する楽しさを学ぶ・基本的な生活習慣を身につけ、自分のことは自分でできるようにする・自分の気持ちを相手に言葉で伝えられるようになる
満3歳児	<ul style="list-style-type: none">・園生活に慣れ、身の回りのことを自分でやってみようとする・友達や保育者との関わりを通じて、言語を知り、言語のやり取りを楽しむ・遊びを通じて、興味関心の幅を広げる

4. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ① 遊びや生活を通じて、興味関心の幅を広げ、園生活を楽しむ。
- ② 食育の一環とし、年間を通してクッキングを実施する。
- ③ 体をたくさん動かし、体力の向上を図る。
- ④ 保育者や友達との関わりを通じて、自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを考えるようにする。

5. 評価項目の達成及び取組状況

	評価項目	評価	取組状況
1	遊びや生活を通じて、興味関心の幅を広げ、園生活を楽しむ	A	遊びや生活の中で子どもたちの「やってみたい」という気持ちを大切にし、興味関心の幅を広げることができた。
2	食育の一環とし、年間を通してクッキングを実施できたか	A	今年度は豚汁、お月見団子、ポテトフライ、芋煮、焼き芋、ピザ、おでん等のクッキングを行った。使用した食材の中には、園児自身が園庭で栽培したものもあった。
3	体をたくさん動かす機会を提供できていたか	A	体操教室、ダンス教室、サッカー教室を行い、基礎体力及び柔軟性、体幹、バランス感覚の向上を図った。また、通常保育の中において外遊びの時間を確保し、体を動かす時間を作った。
4	保育者や友達との関わりを通じて、自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを考えるようにする。	B	「〇〇君はどう思うの?」「大きな声を出したら周りのお友達はどう感じるかな?」などの問いかけを増やし、自分の気持ちや相手の気持ちについて考える機会を増やすことができた。ただ、まだ泣き叫んだり、反射的に手が出てしまうこともあり、根気強く繰り返し問いかけを行うことが必要であることも分かった。

(A:十分に成果があった B:成果があった C:少し成果があった D:成果がなかった)

6. 総合的な評価

評価	理由
A-	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的に見れば、教育目標に基づき、成果のある保育ができた ・年間を通して、園外保育、クッキング、その他イベントを積極的に取り入れることができ、多くの経験を積むことができた ・子どもたち一人一人にしっかりと向き合い、保育をすることができたが、保育者の伝えたいことがうまく伝わらないこともあり、意思疎通をする上での工夫が必要であることを感じた

7. 令和7年度に向けて取り組むべき課題

- ・ひとりひとりに寄り添う保育のあり方を今以上に研究し、実践する
- ・職員の意識や資質を向上させるため、研修や講演会等を実施する
- ・トップダウンの提案ではなく、ボトムアップのような各職員が様々な提案をできる環境を整備する

令和6年度学校関係者評価報告書

学校法人富士学院
富士学院幼稚園

1. 学校関係者評価委員会開催日 令和7年3月17日（月）
2. 会場 富士学院幼稚園保育室
3. 出席者 地域代表2名、保護者代表2名、事務局
4. 自己評価に対する各委員の評価
 - 食育、クッキングを通じて、子どもが食べられるものが増えた。やはり、自分で育て、自分で野菜を切ったりすると、何でも食べられるようになるので不思議だと感じた。
 - 預かり保育の時間が変わり、短時間でも預けられるようになったので助かっている。保護者のニーズも多様化しているので、柔軟に対応してくれるのでありがたい。
 - 気温が高すぎるとプールができないことがあるが、ちょっとした水遊び程度でもやってもらえると、子ども達は嬉しいと思う。
 - 子どもの成長を感じた一年だった。幼稚園で教えてもらったことを自宅でもやってくれるので、先生の声掛けが良いと感じている。
 - 食育の一環でクッキングをたくさんやっているが、アレルギーがある子も多いと思うので、注意しながらやってほしい。
 - 園舎や遊具等の修繕を行っている立場から見ると、リスク管理がしっかりできていると感じている。業者から提案をする前に「遊具の塗装をお願いしたい」「〇〇の調子があまり良くないので見てほしい」等の依頼が来るので、日常的によく点検をしていることが伝わる。
 - 保育者の目線が子ども目線であり、親しみやすい雰囲気がある。